

KOBELCO

神戸製鋼の
熱延鋼板

株式会社神戸製鋼所

産業の基本素材として、 時代のハイグレード化をささえる神戸製鋼の熱延鋼板。

熱延鋼板は、自動車、電機、建材、容器、溶接鋼管など、幅広い分野で使用されています。
近年これらの製品の多様化、高級化に伴い、熱延鋼板にもますます高度な品質が要求されています。
神戸製鋼は、厳しい品質管理のもとに優れた設備を駆使し、お客様のニーズに適合した、
種々の特長をもつ熱延鋼板を製造しています。
これからも当社は、たゆまぬ研究と開発により、新製品の開発と製造技術の発展に力を注いでいきます。
一層のご愛顧を賜りますようお願いいたします。

特長

1. 良好で安定した品質

優れた設備と製造技術に加えて、原材料から最終製品に至るまで徹底した品質管理のもとに製造しています。

2. 豊富な種類

軟鋼板や高張力鋼板など、幅広い用途に適した各種規格の製品を取り揃えています。また、厚さは1.2mmから25.4mmまで、幅は600mmから2080mmまでの広範なサイズのものを製造しています。

3. 優れた製品

クラウン制御ミル、エッジヒーター、制御冷却装置など、新鋭設備の導入と高い技術力に基づき、表面品質、形状、加工性の優れた製品を製造しています。

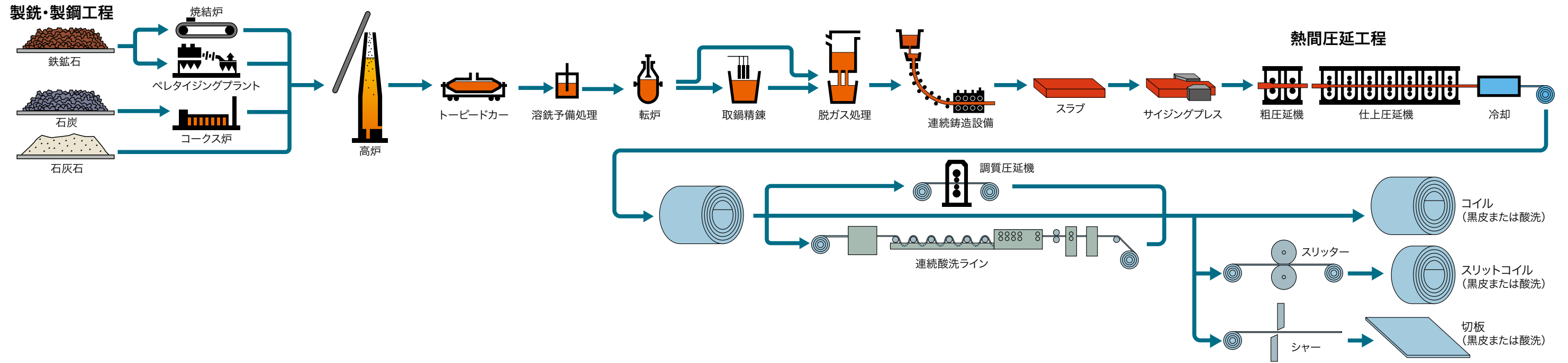
4. タイムリーな技術サービス

熱延鋼板のご使用に際してのご相談は、当社の営業および技術サービス部門にご連絡ください。お客様に密着した技術サービスをタイムリーに提供させていただきます。

目次

製造工程	2
製造品種	4
主な用途	5
製造規格	6
製造可能範囲	12
寸法許容差	17
梱包と表示	22
ご注文の手引きと連絡先	23

製造工程



高炉



転炉



連続铸造設備 (出側)



ホットストリップミル

板厚mm	幅mm	内径mm	外径mm	単重ton
1.2~25.4	600~2080	762	Max2100	Max43



連続酸洗ライン

板厚mm	幅mm	内径mm	外径mm	単重ton
1.2~6.5	600~1850	610/762	Max2100	Max38

製造品種

規格	名称	種類の記号	当社対応厚さ(mm)	用途
JIS G 3131	熱間圧延軟鋼板 および鋼帯	SPHC	1.2以上12.7以下	一般用
		SPHD		加工用
		SPHE	1.2以上 8以下	加工用
		SPHF	1.4以上 8以下	加工用
JIS G 3132	鋼管用熱間圧延 炭素鋼鋼帯	SPHT1	1.2以上12.7以下	溶接鋼管用の熱間圧延炭素鋼鋼帯
		SPHT2		
		SPHT3	1.6以上12.7以下	
		SPHT4		
JIS G 3113	自動車構造用 熱間圧延鋼板および鋼帯	SAPH310	1.6以上12.7以下	加工性の良い構造用の熱間圧延鋼板及び鋼帯で、 主に自動車に適用
		SAPH370		
		SAPH400		
		SAPH440		
JIS G 3134	自動車用加工性 熱間圧延高張力鋼板 および鋼帯	SPFH490	1.6以上 6以下	加工性に優れた熱間圧延高張力鋼板及び鋼帯で、 主に自動車に適用
		SPFH540		
		SPFH590		
JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材	SS330	1.2以上12.7以下	橋梁、船舶、車両その他の構造物に用いる一般構造用 の熱間圧延鋼材
		SS400		
		SS490	1.4以上12.7以下	
		SS540	1.4以上10以下	
JIS G 3106	溶接構造用圧延鋼材	SM400 A/B	1.2以上12.7以下	橋梁、船舶、車両その他の構造物に用いる熱間圧延鋼 材で、特に溶接性に優れたもの
		SM490 A/B	1.4以上12.7以下	
JIS G 3116	高圧ガス容器用鋼板 および鋼帯	SG255	1.6以上 6以下	LPガス、アセチレンなどの各種高圧ガスを充填する内 容量500L以下の溶接容器に用いる熱間圧延鋼板及 び鋼帯
		SG295		
		SG325		
		SG365		
神鋼規格	熱間圧延高張力鋼板 (一般加工用)	KBHF490	1.6以上 9以下	析出強化型で高い強度を有し、曲げ加工に適した熱間 圧延高張力鋼板
		KBHF540		
		KBHF590	1.6以上 6以下	
	KBHF690			
	熱間圧延高張力鋼板 (強加工用)	KBHF490B	1.6以上 6以下	
KBHF540B				
KBHF590B				
KBHF780B		1.8以上 4.5以下		
神鋼規格	縞鋼板	KCP	2.3以上12.7以下	当社独自の美しい縞目模様を有し、すべり止め効果及 び水切り性に優れた鋼板
		KCP-SS400		

主な用途

神戸製鋼の熱延鋼板は、自動車、電機、建材、容器、溶接鋼管など、幅広い分野のニーズにあわせ、用途にあった特長ある製品としてご使用頂けます。



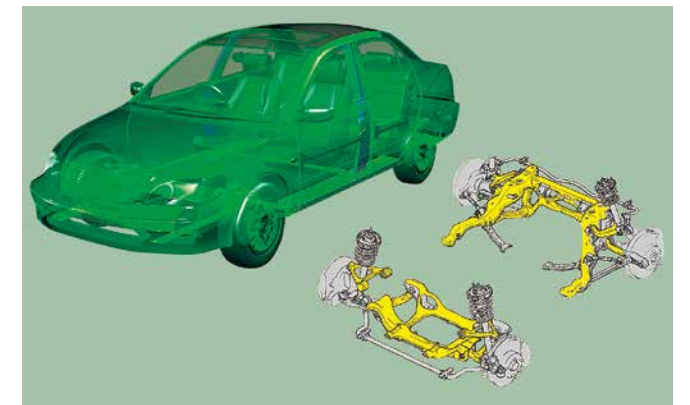
コラム



パイプ



機械パネル



自動車懸架装置



クレーン



ボンベ



縞鋼板

製造規格

■熱間圧延軟鋼板および鋼帯 (JIS G 3131)

種類の記号	化学成分 (%)				引張試験								曲げ試験			
	C	Mn	P	S	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)						試験片 (JIS)	曲げ性			試験片 (JIS)
						厚さ (mm)							曲げ角度	内側半径		
						1.2以上 1.6未満	1.6以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.2未満	3.2以上 4.0未満	4.0以上			厚さ3.2mm未満	厚さ3.2mm以上	
SPHC	0.12以下	0.60以下	0.045以下	0.035以下	270以上	27以上	29以上	29以上	29以上	31以上	31以上	5号 圧延方向	180°	密着	厚さの0.5倍	3号 圧延方向
SPHD	0.10以下	0.45以下	0.035以下	0.035以下	270以上	30以上	32以上	33以上	35以上	37以上	39以上		—	—	—	
SPHE	0.08以下	0.40以下	0.030以下	0.030以下	270以上	32以上	34以上	35以上	37以上	39以上	41以上		—	—	—	
SPHF	0.08以下	0.35以下	0.025以下	0.025以下	270以上	37以上	38以上	39以上	39以上	40以上	42以上		—	—	—	

■鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯 (JIS G 3132)

種類の記号	化学成分 (%)					引張試験						曲げ試験			
	C	Si	Mn	P	S	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)				試験片 (JIS)	曲げ性			試験片 (JIS)
							厚さ (mm)					曲げ角度	内側半径		
							1.2以上 1.6未満	1.6以上 3.0未満	3.0以上 6.0未満	6.0以上 13以下			厚さ3.0mm以下	厚さ3.0mmを超え13mm以下	
SPHT1	0.10以下	0.35以下	0.50以下	0.040以下	0.040以下	270以上	30以上	32以上	35以上	37以上	5号 圧延方向	180°	密着	厚さの0.5倍	3号 圧延方向
SPHT2	0.18以下	0.35以下	0.60以下	0.040以下	0.040以下	340以上	25以上	27以上	30以上	32以上		180°	厚さの1.0倍	厚さの1.5倍	
SPHT3	0.25以下	0.35以下	0.30~0.90	0.040以下	0.040以下	410以上	20以上	22以上	25以上	27以上		180°	厚さの1.5倍	厚さの2.0倍	
SPHT4	0.30以下	0.35以下	0.30~1.00	0.040以下	0.040以下	490以上	15以上	18以上	20以上	22以上		180°	厚さの1.5倍	厚さの2.0倍	

■自動車構造用熱間圧延鋼板および鋼帯 (JIS G 3113)

種類の記号	化学成分 (%)		引張強さ (N/mm ²)	引張試験										曲げ試験			
	P	S		降伏点 (N/mm ²)			伸び (%)						試験片 (JIS)	曲げ性			試験片 (JIS)
				厚さ (mm)			厚さ (mm)							曲げ角度	内側半径		
				厚さ6mm未満	厚さ6mm以上 8mm未満	厚さ8mm以上 14mm以下	1.6以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.15未満	3.15以上 4.0未満	4.0以上 6.3未満	6.3以上			厚さ 2.0mm未満	厚さ 2.0mm以上	
SAPH310	0.040以下	0.040以下	310以上	(185)以上	(185)以上	(175)以上	33以上	34以上	36以上	38以上	40以上	41以上	5号 圧延方向	180°	密着	厚さの1.0倍	3号 圧延方向に 直角
SAPH370			370以上	225以上	225以上	215以上	32以上	33以上	35以上	36以上	37以上	38以上		180°	厚さの0.5倍	厚さの1.0倍	
SAPH400			400以上	255以上	235以上	235以上	31以上	32以上	34以上	35以上	36以上	37以上		180°	厚さの1.0倍	厚さの1.0倍	
SAPH440			440以上	305以上	295以上	275以上	29以上	30以上	32以上	33以上	34以上	35以上		180°	厚さの1.0倍	厚さの1.5倍	

■自動車用加工性熱間圧延高張力鋼板および鋼帯 (JIS G 3134)

種類の記号	引張試験						曲げ試験				
	引張強さ (N/mm ²)	降伏点または耐力 (N/mm ²)	伸び (%)				試験片 (JIS)	曲げ性			試験片 (JIS)
			厚さ (mm)					曲げ角度	内側半径		
			1.6以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.25未満	3.25以上 6.0以下			厚さ1.6mm以上3.25mm未満	厚さ3.25mm以上6.0mm以下	
SPFH490	490以上	325以上	22以上	23以上	24以上	25以上	5号 圧延方向に 直角	180°	厚さの0.5倍	厚さの1.0倍	3号 圧延方向に 直角
SPFH540	540以上	355以上	21以上	22以上	23以上	24以上		180°	厚さの1.0倍	厚さの1.5倍	
SPFH590	590以上	420以上	19以上	20以上	21以上	22以上		180°	厚さの1.5倍	厚さの1.5倍	

製造規格

■一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)

種類の記号	化学成分 (%)				引張試験				曲げ試験			
	C	Mn	P	S	引張強さ (N/mm ²)	降伏点または耐力 (N/mm ²)		伸び (%)		曲げ性		試験片 (JIS)
						厚さ16mm以下	厚さ16mmを超え	5号試験片	1A号試験片	曲げ角度	内側半径	
								厚さ5mm以下	厚さ5mmを超え16mm以下			
SS330	—	—	0.050以下	0.050以下	330~430	205以上	195以上	26以上	21以上	180°	厚さの0.5倍	1号
SS400	—	—	0.050以下	0.050以下	400~510	245以上	235以上	21以上	17以上	180°	厚さの1.5倍	
SS490	—	—	0.050以下	0.050以下	490~610	285以上	275以上	19以上	15以上	180°	厚さの2.0倍	
SS540	0.30以下	1.60以下	0.040以下	0.040以下	540以上	400以上	390以上	16以上	13以上	180°	厚さの2.0倍	

■溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106)

種類の記号	化学成分 (%)					引張試験			
	C	Si	Mn	P	S	引張強さ (N/mm ²)	降伏点または耐力 (N/mm ²)	伸び (%)	
								5号試験片	1A号試験片
								厚さ5mm以下	厚さ5mmを超え16mm以下
SM400A	0.23以下	—	2.5×C以上 (注1)	0.035以下	0.035以下	400~510	245以上	23以上	18以上
SM400B	0.20以下	0.35以下	0.60~1.50	0.035以下	0.035以下				
SM490A	0.20以下	0.55以下	1.65	0.035以下	0.035以下	490~610	325以上	22以上	17以上
SM490B	0.18以下	0.55以下	1.65	0.035以下	0.035以下				

注1) Cの値は溶鋼分析値を適用する。

■高圧ガス容器用鋼板および鋼帯 (JIS G 3116)

種類の記号	化学成分 (%)					引張試験			曲げ試験			
	C	Si	Mn	P	S	引張強さ (N/mm ²)	降伏点または耐力 (N/mm ²)	伸び (%)	試験片 (JIS)	曲げ性		
								厚さ6.0mm以下		曲げ角度	内側半径	
												試験片 (JIS)
SG255	0.20以下	—	0.30以上	0.020以下	0.020以下	400以上	255以上	28以上	5号 圧延方向	180°	厚さの1.0倍	3号 圧延方向
SG295	0.20以下	0.35以下	1.00以下	0.020以下	0.020以下	440以上	295以上	26以上		180°	厚さの1.5倍	
SG325	0.20以下	0.55以下	1.50以下	0.020以下	0.020以下	490以上	325以上	22以上		180°		
SG365	0.20以下	0.55以下	1.50以下	0.020以下	0.020以下	540以上	365以上	20以上		180°		

製造規格（神鋼規格）

■熱間圧延高張力鋼板（神鋼規格）

タイプ	種類の記号	引張試験						試験片 (JIS)
		引張強さ (N/mm ²)	降伏点または耐力 (N/mm ²)	伸び (%)				
				厚さ (mm)				
		1.6以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.25未満	3.25以上 6.3以下			
一般加工用	KBHF490	490以上	325以上	22以上	23以上	24以上	25以上	5号圧延方向に直角
	KBHF540	540以上	355以上	21以上	22以上	23以上	24以上	
	KBHF590	590以上	420以上	19以上	20以上	21以上	22以上	
	KBHF690	690以上	520以上	15以上	16以上	17以上	18以上	
強加工用	KBHF490B	490以上	325以上	22以上	23以上	24以上	25以上	
	KBHF540B	540以上	355以上	21以上	22以上	23以上	24以上	
	KBHF590B	590以上	420以上	19以上	20以上	21以上	22以上	
	KBHF780B	780以上	550以上	13以上	14以上	15以上	16以上	

■縞鋼板（神鋼規格）

タイプ	種類の記号	化学成分 (%)		引張試験			
		P	S	引張強さ (N/mm ²)	降伏点 (N/mm ²)	伸び (%)	
						5号試験片	1A号試験片
				厚さ5.0mm以下	厚さ5.0を超え 12.0mm以下		
一般用	KCP	—	—	—	—	—	—
一般構造用	KCP-SS400	0.050以下	0.050以下	400~510	(245以上)	(21以上)	(17以上)

備考 1. KCPは機械的性質の規定はしていませんが、通常の場合引張強さは275N/mm²以上あります。
2. KCP-SS400は引張り強さのみ保証し、降伏点および伸びは参考値とします。

製造可能寸法および重量

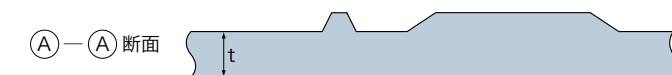
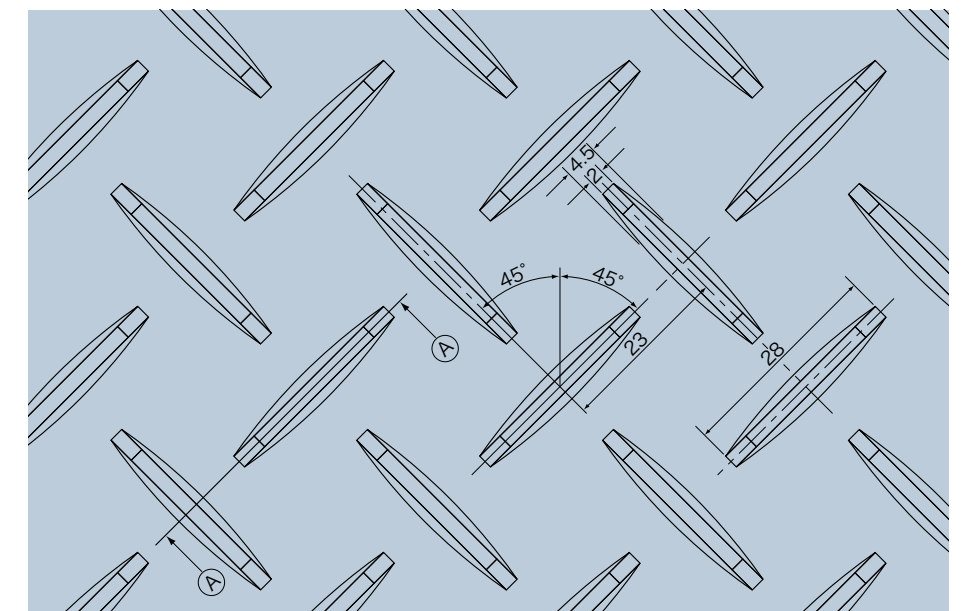
(単位: kg)

板厚 (mm)	種類	板幅×長さ 呼称(ft)	鋼板1枚の重量 (W ₂)			鋼帯1コイルの最大重量		
			914×1829	1219×2438	1524×3048	914×ℓ	1219×ℓ	1524×ℓ
2.3	単位重量 (W ₁) (kg/m ²)	3×6	33.0	58.6	—	3幅	4幅	5幅
3.2	19.73	4×8	44.8	79.6	124	13500	18000	22200
4.5	26.79	5×10	61.8	110	172	15000	20000	22700
6.0	36.99	—	81.5	145	227	15400	20500	24300
8.0	48.77	—	107.8	192	297	17300	23000	28900
9.0	64.47	—	121	215	336	17300	23000	28900
12.0	72.32	—	160	285	445	17300	23000	28900
	95.87	—						

備考 1. 上表以外の寸法についてもご相談に応じます。
2. 単位重量 (W₁) の計算方法は次のとおりです。
W₁ = 7.85 t + 1.67 (kg/m²)
t = 縞鋼板の板厚 (mm)
また、鋼板1枚の重量 (W₂) の計算方法は次のとおりです。
W₂ = W₁ × A
A = 縞鋼板の面積 (m²)
3. 鋼帯の内径は約760mm、外径の最大値は2100mmとします。

外観および形状・寸法


(単位: mm)



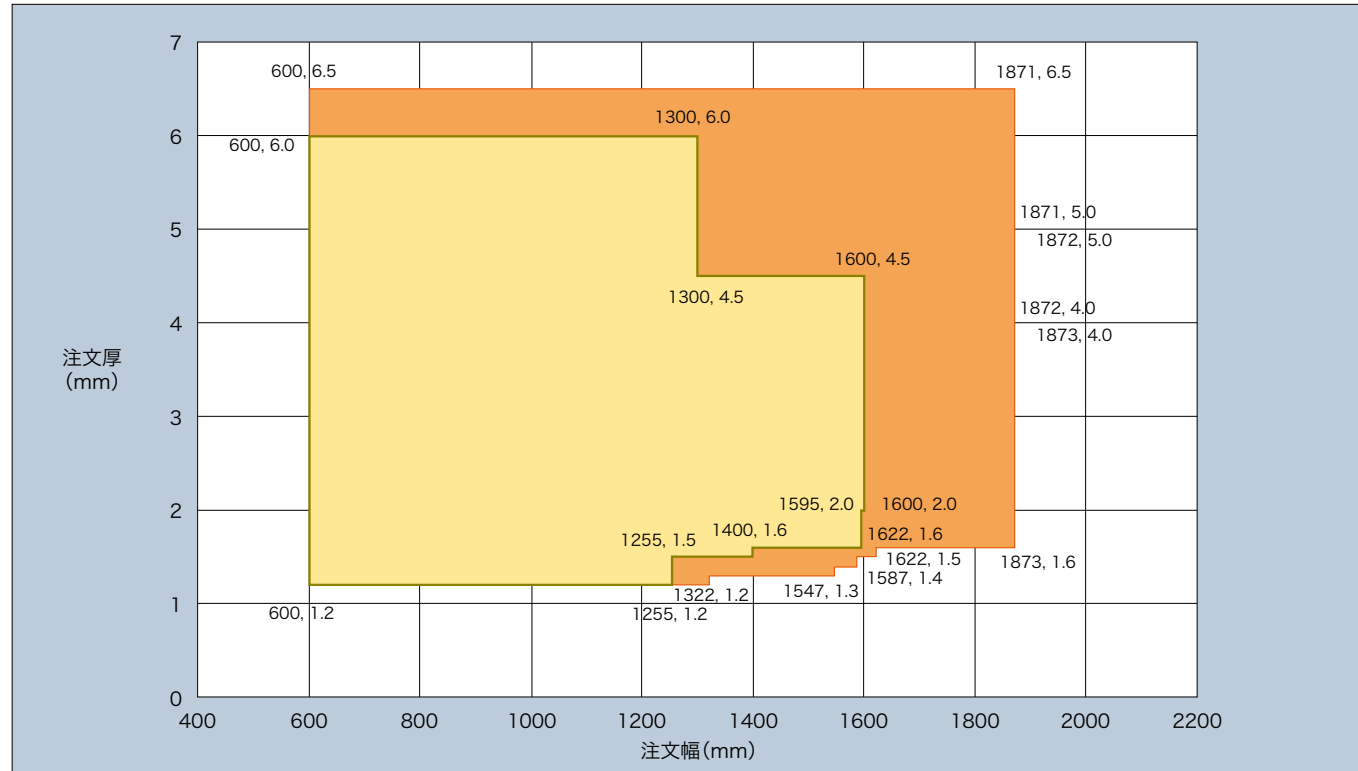
製造可能範囲

規格・用途等によって若干製造可能範囲が変わりますのでご相談ください。

■酸洗材

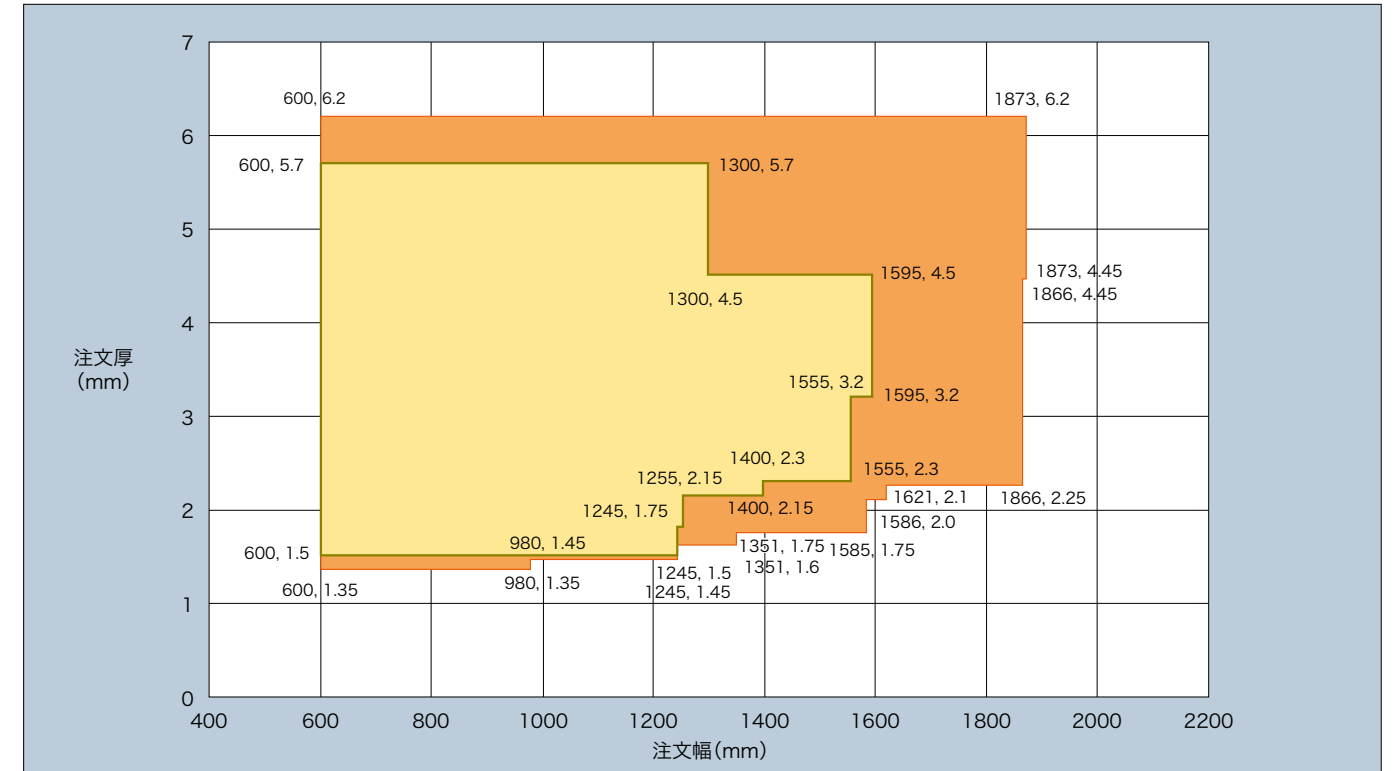
※  の範囲についてはご相談ください。

●対象規格：270N/mm²クラス

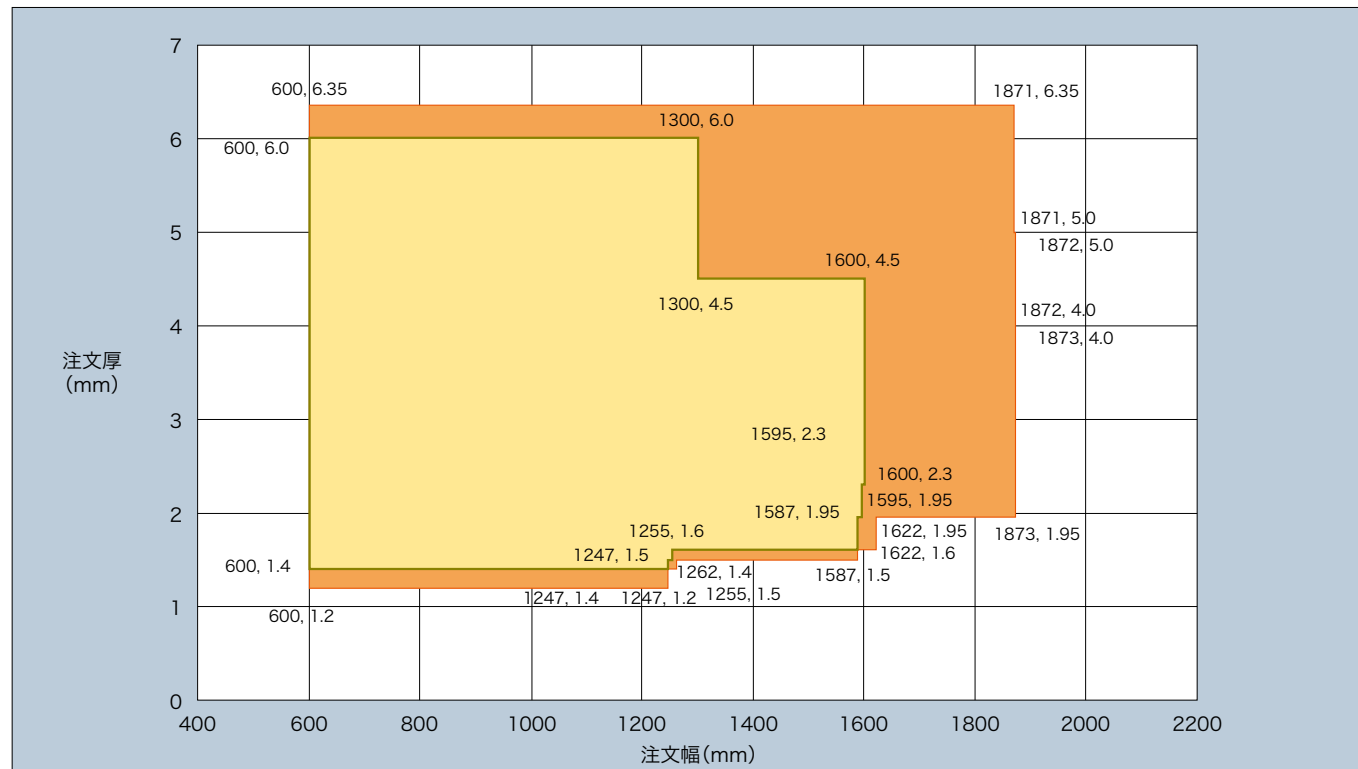


※  の範囲についてはご相談ください。

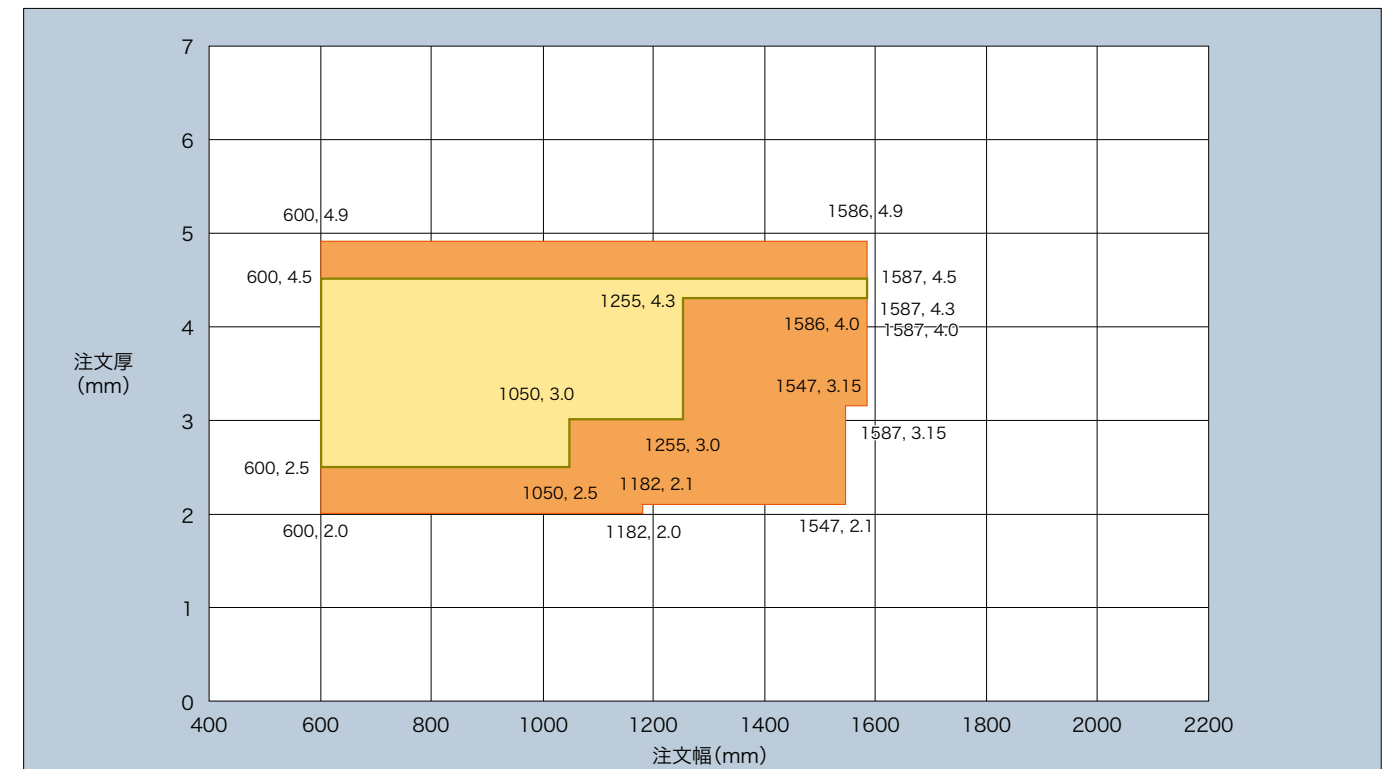
●対象規格：590N/mm²クラス



●対象規格：400～440N/mm²クラス



●対象規格：780N/mm²クラス

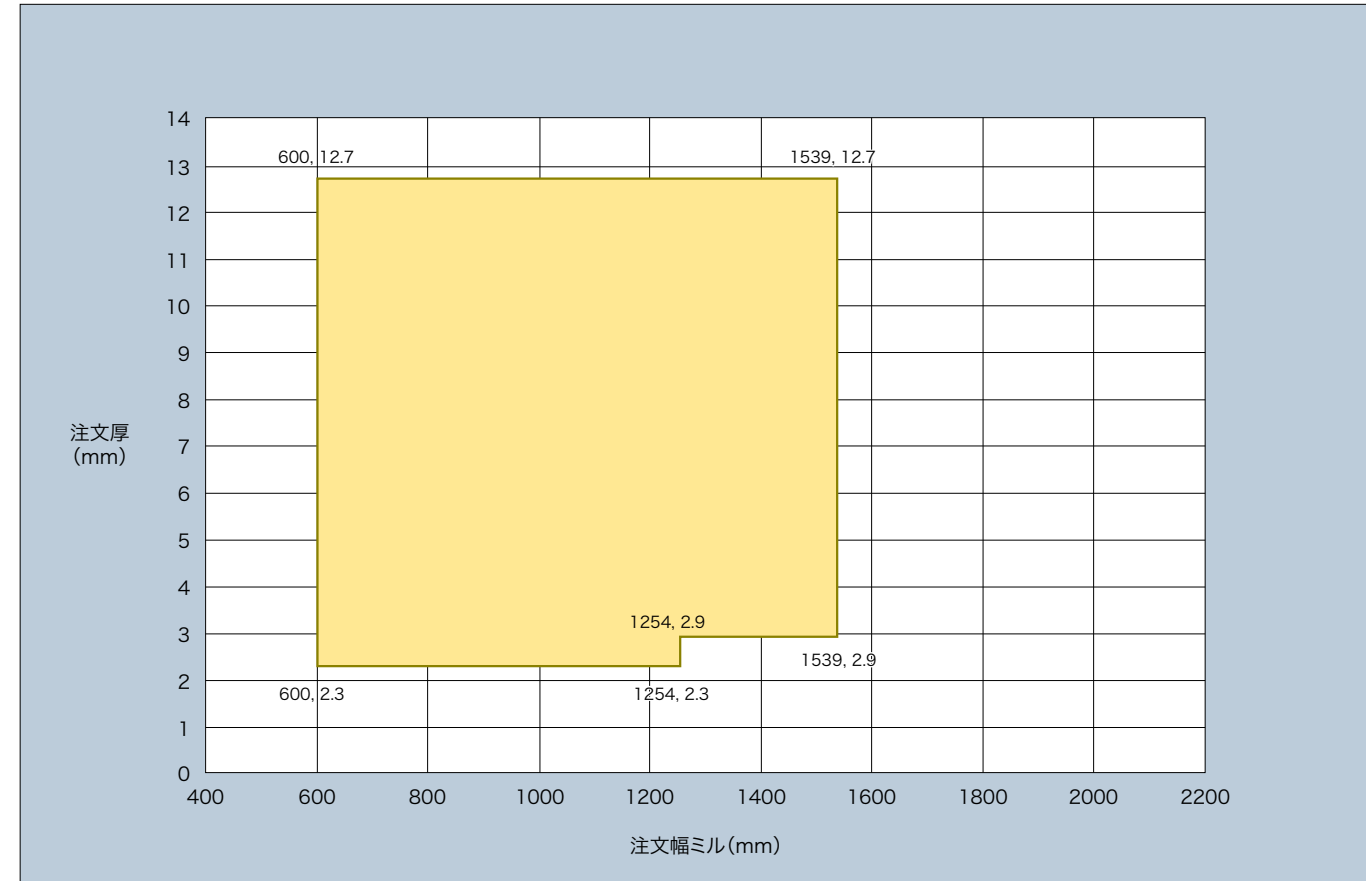


製造可能範囲

規格・用途等によって若干製造可能範囲が変わりますのでご相談ください。

■ 縞鋼板

● 対象規格：270～400N/mm² クラス



寸法許容差

① 厚さ許容差

■ 熱間圧延軟鋼板および鋼帯 (JIS G 3131)

(単位：mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2080以下
1.60未満	±0.14	±0.15	±0.16 (注1)	—
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.17	±0.18	±0.21 (注2)
2.00以上 2.50未満	±0.17	±0.19	±0.21	±0.25 (注2)
2.50以上 3.15未満	±0.19	±0.21	±0.24	±0.26
3.15以上 4.00未満	±0.21	±0.23	±0.26	±0.27
4.00以上 5.00未満	±0.24	±0.26	±0.28	±0.29
5.00以上 6.00未満	±0.26	±0.28	±0.29	±0.31
6.00以上 8.00未満	±0.29	±0.30	±0.31	±0.35
8.00以上 10.0未満	±0.32	±0.33	±0.34	±0.40
10.0以上 12.5未満	±0.35	±0.36	±0.37	±0.45
12.5以上 14.0以下	±0.38	±0.39	±0.40	±0.50

注1) 幅1600mm未満について適用する。

注2) 幅2000mm未満について適用する。

備考 1. 厚さの測定箇所は、縁から20mm以上内側の任意の点とする。

2. 鋼帯の両端の正常でない部分には適用しない。

■ 鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯 (JIS G 3132)

SPHT1、SPHT2およびSPHT3に適用

(単位：mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2080以下
1.60未満	±0.14	±0.15	±0.16 (注1)	—
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.17	±0.18	±0.21 (注2)
2.00以上 2.50未満	±0.17	±0.19	±0.21	±0.25 (注2)
2.50以上 3.15未満	±0.19	±0.21	±0.24	±0.26
3.15以上 4.00未満	±0.21	±0.23	±0.26	±0.27
4.00以上 5.00未満	±0.24	±0.26	±0.28	±0.29
5.00以上 6.00未満	±0.26	±0.28	±0.29	±0.31
6.00以上 8.00未満	±0.29	±0.30	±0.31	±0.35
8.00以上 10.0未満	±0.32	±0.33	±0.34	±0.40
10.0以上 12.5未満	±0.35	±0.36	±0.37	±0.45
12.5以上 13.0以下	±0.38	±0.39	±0.40	±0.50

SPHT4に適用

(単位：mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2080以下
1.60未満	±0.14	±0.15	±0.16 (注1)	—
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.19	±0.20	—
2.00以上 2.50未満	±0.18	±0.22	±0.23	±0.25 (注2)
2.50以上 3.15未満	±0.20	±0.24	±0.26	±0.29
3.15以上 4.00未満	±0.23	±0.26	±0.28	±0.30
4.00以上 5.00未満	±0.26	±0.29	±0.31	±0.32
5.00以上 6.00未満	±0.29	±0.31	±0.32	±0.34
6.00以上 8.00未満	±0.32	±0.33	±0.34	±0.38
8.00以上 10.0未満	±0.35	±0.36	±0.37	±0.44
10.0以上 12.5未満	±0.38	±0.40	±0.41	±0.49
12.5以上 13.0以下	±0.41	±0.44	±0.45	±0.54

注1) 幅1600mm以下について適用する。

注2) 幅2000mm以下について適用する。

備考 1. 厚さの測定箇所は、縁から20mm以上内側の任意の点とする。

2. 鋼帯の両端の正常でない部分には適用しない。

寸法許容差

■自動車構造用熱間圧延鋼板および鋼帯 (JIS G 3113)

(単位: mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2080以下
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.17	±0.18	—
2.00以上 2.50未満	±0.17	±0.19	±0.21	—
2.50以上 3.15未満	±0.19	±0.21	±0.24	—
3.15以上 4.00未満	±0.21	±0.23	±0.26	—
4.00以上 5.00未満	±0.24	±0.26	±0.28	±0.29
5.00以上 6.00未満	±0.26	±0.28	±0.29	±0.31
6.00以上 8.00未満	±0.29	±0.30	±0.31	±0.35
8.00以上 10.0未満	±0.32	±0.33	±0.34	±0.40
10.0以上 12.5未満	±0.35	±0.36	±0.37	±0.45
12.5以上 14.0以下	±0.38	±0.39	±0.40	±0.50

備考 1. 厚さの測定箇所は、JIS G 3193による。
2. 鋼帯の両端の正常でない部分には適用しない。

■自動車用加工性熱間圧延高張力鋼板および鋼帯 (JIS G 3134)

(単位: mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2080以下
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.19	±0.20 (注1)	—
2.00以上 2.50未満	±0.18	±0.22	±0.23 (注1)	—
2.50以上 3.15未満	±0.20	±0.24	±0.26 (注1)	—
3.15以上 4.00未満	±0.23	±0.26	±0.28	±0.30
4.00以上 5.00未満	±0.26	±0.29	±0.31	±0.32
5.00以上 6.00未満	±0.29	±0.31	±0.32	±0.34
6.00	±0.32	±0.33	±0.34	±0.38

注1) 幅1600mm未満について適用する。

備考 1. 厚さの測定箇所は、JIS G 3193 (熱間圧延鋼板および鋼帯の形状、寸法、質量およびその許容差)による。
2. 鋼帯の両端の正常でない部分には適用しない。

■熱間圧延高張力鋼板 (神鋼規格) の厚さ許容差は JIS G 3134 に準じます。

■高圧ガス容器用鋼板および鋼帯 (JIS G 3116)

SG255 および SG295 の厚さの許容差

(単位: mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2000未満
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.17	±0.18	±0.21
2.00以上 2.50未満	±0.17	±0.19	±0.21	±0.25
2.50以上 3.15未満	±0.19	±0.21	±0.24	±0.26
3.15以上 4.00未満	±0.21	±0.23	±0.26	±0.27
4.00以上 5.00未満	±0.24	±0.26	±0.28	±0.29
5.00以上 6.00未満	±0.26	±0.28	±0.29	±0.31
6.00	±0.29	±0.30	±0.31	±0.35

備考 1. 幅2000mm以上の場合は、受渡当事者間の協定による。
2. 厚さの測定箇所は、縁から20mm以上内側の任意の点とする。
3. 鋼帯の両端の正常でない部分には適用しない。

SG325 の厚さの許容差

(単位: mm)

厚さ \ 幅	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2000未満
1.60以上 2.00未満	±0.16	±0.19	±0.20	—
2.00以上 2.50未満	±0.18	±0.22	±0.23	—
2.50以上 3.15未満	±0.20	±0.24	±0.26	—
3.15以上 4.00未満	±0.23	±0.26	±0.28	±0.30
4.00以上 5.00未満	±0.26	±0.29	±0.31	±0.32
5.00以上 6.00未満	±0.29	±0.31	±0.32	±0.34
6.00	±0.32	±0.33	±0.34	±0.38

備考 1. 幅2000mm以上の場合は、受渡当事者間の協定による。
2. 厚さの測定箇所は、縁から20mm以上内側の任意の点とする。
3. 鋼帯の両端の正常でない部分には適用しない。

■その他 (JIS G 3193)

- 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)
- 溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106)
- 縞鋼板 (神鋼規格)

上記のものの厚さ許容差は JIS G 3193 に準じます。

JIS G 3193 の許容差

(単位: mm)

厚さ \ 幅	1600未満	1600以上 2000未満	2000以上 2080以下
1.25未満	±0.16	—	—
1.25以上 1.60未満	±0.18	—	—
1.60以上 2.00未満	±0.19	±0.23	—
2.00以上 2.50未満	±0.20	±0.25	—
2.50以上 3.15未満	±0.22	±0.29	±0.29
3.15以上 4.00未満	±0.24	±0.34	±0.34
4.00以上 5.00未満	±0.45	±0.55	±0.55
5.00以上 6.30未満	±0.50	±0.60	±0.60
6.30以上 10.0未満	±0.55	±0.65	±0.65
10.0以上 16.0未満	±0.55	±0.65	±0.65
16.0以上 25.0未満	±0.65	±0.75	±0.75

備考 厚さの測定箇所は、ミルエッジの鋼帯および鋼帯からの切板の場合は、その縁から25mm以上内側の任意の点、カットエッジの鋼帯および鋼帯からの切板の場合は、その縁から15mm以上内側の任意の点とする。

寸法許容差

②幅許容差

- 熱間圧延軟鋼板および鋼帯 (JIS G 3131)
- 鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯 (JIS G 3132)
- 自動車構造用熱間圧延鋼板および鋼帯 (JIS G 3113)
- 自動車加工性熱間圧延高張力鋼板および鋼帯 (JIS G 3134)
- 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)
- 高圧ガス容器用鋼板および鋼帯 (JIS G 3116)
- 溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106)
- 熱間圧延高張力鋼板 (神鋼規格)
- 縞鋼板 (神鋼規格)

上記のものの厚さ許容差はJIS G 3193に準じます。

JIS G 3193の幅許容差

(単位: mm)

幅	厚さ	許容差		
		ミルエッジ 鋼帯および 鋼帯からの切板	カットエッジ	
			A 通常の切断方法に よったもの	B 再切断または精密切断 を行ったもの
400以上 630未満	6.00未満	+20 0	+10 0	+3 0
	6.00以上 20.0未満		+10 0	+5 0
	20.0以上		+15 0	—
630以上 1000未満	6.00未満	+25 0	+10 0	+4 0
	6.00以上 20.0未満		+10 0	+6 0
	20.0以上		+15 0	—
1000以上 1250未満	6.00未満	+30 0	+10 0	+4 0
	6.00以上 20.0未満		+15 0	+6 0
	20.0以上		+15 0	—
1250以上 1600未満	6.00未満	+35 0	+10 0	+4 0
	6.00以上 20.0未満		+15 0	+6 0
	20.0以上		+15 0	—
1600以上 2000未満	6.00未満	+40 0	+10 0	+4 0
	6.00以上 20.0未満		+20 0	+6 0
	20.0以上		+20 0	—
2000以上 3000未満	6.00未満	+40 0	+10 0	+4 0
	6.00以上 20.0未満		+20 0	+6 0
	20.0以上		+20 0	—

※ カットエッジの場合、特に指定がない限り、許容差Aによる。

③長さの許容差 (JIS G 3193)

- 熱間圧延軟鋼板および鋼帯 (JIS G 3131)
- 鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯 (JIS G 3132)
- 自動車構造用熱間圧延鋼板および鋼帯 (JIS G 3113)
- 自動車加工性熱間圧延高張力鋼板および鋼帯 (JIS G 3134)
- 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)
- 高圧ガス容器用鋼板および鋼帯 (JIS G 3116)
- 溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106)
- 熱間圧延高張力鋼板 (神鋼規格)
- 縞鋼板 (神鋼規格)

上記のものの長さ許容差はJIS G 3193に準じます。

鋼板の長さの許容差A (通常の切断方法によったもの)

(単位: mm)

長さ	許容差
4000未満	+20 0
4000以上 6000未満	+30 0
6000以上 8000未満	+40 0
8000以上 10000未満	+50 0
10000以上 15000未満	+75 0

鋼板の長さの許容差B (再切断または精密切断を行ったもの)

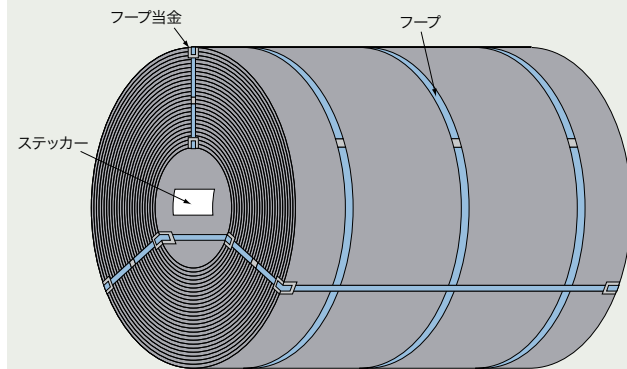
(単位: mm)

長さ	厚さ	許容差
6300未満	6.00未満	+5 0
	6.00以上 20.00未満	+10 0
6300以上	6.00未満	+10 0
	6.00以上 20.00未満	+15 0

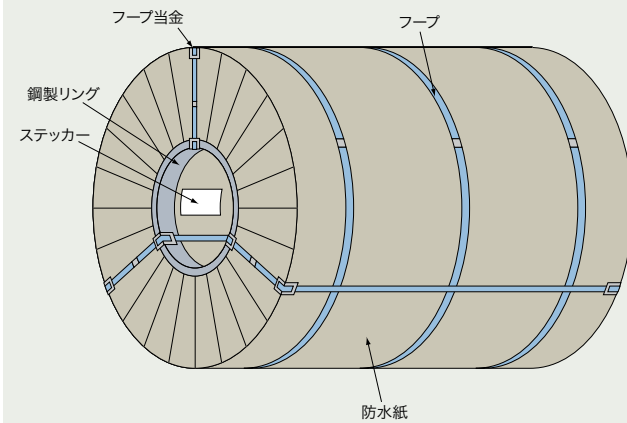
梱包と表示

■コイル梱包例

黒皮コイル



酸洗コイル



■ステッカー表示

KOBELCO HOT ROLLED STEEL SHEET IN COIL		殿
規格	SS400	
寸法	3.20X1219XC01L 1級	
質量(正味)	6150 KG 鋼番 KB7992	
製品NO	0519794 JIS J1CQA QA0507016	
株式会社 神戸製鋼所 加古川製鉄所		供給者企業コード (1V)
		製品番号 (S) 0519794
		質量/異数 (Q) 6150 1
		JISI A-1 (株) 神戸製鋼所

ご注文の手引きと連絡先

ご注文に際しては下記事項を確認の上、ご連絡ください。

■熱延鋼板の仕様

- 規 格
- 寸 法 : 厚さ、幅、長さ(シート材)
- 表面仕上 : 黒皮、酸洗
- 耳仕上げ : ミルエッジ、カットエッジ
- 内 径 : 762mm (30")、610mm (24") を標準としています。
- 外 径 : 弊社外径制約は最大2,100mm
- 梱包単位 : シート材 通常2トン以上を標準としています。
コイル材 最大単質量をご指定ください。

■用途および加工条件

- 使用用途、使用条件、溶接、曲げ等の加工条件
- 寸法許容差、機械的性質等の要求特性

■納期

ご注意およびお願い

本資料に記載された技術情報は、弊社製品の一般的な特性や性能を説明するためのものであり、資料中の規定事項以外は保証するものではありません。また、使用される目的、環境および条件等により、あてはまらないことがあります。不適切な使用等によって生じた損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、弊社各担当部署までお問い合わせください。

●お問い合わせは

薄板営業部		薄板商品技術室	
東京本社	(03) 5739-6186	東京本社	(03) 5739-6272
大阪支社	(06) 6206-6248	大阪支社	(06) 6206-6329
名古屋支社	(052) 584-6161	名古屋支社	(052) 584-6156
中国支店	(082) 258-5303	中国支店	(082) 258-5303
九州支店	(092) 451-6011	九州支店	(092) 451-6011

株式会社 神戸製鋼所

鉄鋼アルミ事業部門

神戸本社	〒651-8585	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2-4	電話(078)261-5111
東京本社	〒141-8688	東京都品川区北品川5丁目9-12	電話(03)5739-6000
大阪支社	〒541-8536	大阪府大阪市中央区備後町4丁目1-3(御堂筋三井ビル)	電話(06)6206-6111
名古屋支社	〒451-0045	愛知県名古屋市西区名駅2丁目27-8(名古屋プライムセントラルタワー)	電話(052)584-6111
北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北四条西5丁目1-3(日本生命北門館ビル)	電話(011)261-9331
東北支店	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町1丁目2-25(仙台NSビル)	電話(022)261-8811
北陸支店	〒930-0858	富山県富山市牛島町18-7(アーバンプレイス)	電話(076)441-4226
四国支店	〒760-0017	香川県高松市番町1丁目6-8(高松興銀ビル)	電話(087)823-7222
中国支店	〒732-0057	広島県広島市東区二葉の里3丁目5-7(GRANODE広島)	電話(082)258-5301
九州支店	〒812-0012	福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1(新幹線博多ビル)	電話(092)431-2211
沖縄支店	〒900-0006	沖縄県那覇市おもろまち1丁目3-31(那覇新都心メディアビル西棟9階)	電話(098)866-4923